

2023年度 和泉短期大学 シラバス

| | | | | | |
|------------------|---|--|--|-----------|----|
| 授業科目名 | 社会的養護の内容 | | 教員氏名 | 中安恒太 | |
| 科目ナンバー | Ⅲ-6-1-1 | | | | |
| 学年 | 1年 | | 開講学期 | 後期 | |
| 授業形態 | 演習 | | 単位数 | 1単位 | |
| 必修・選択 | 保育士必修 | | 実務経験 | 児童養護施設指導員 | 9年 |
| テーマ | 社会的養護が必要な子どもに対する必要な知識・技術・倫理を実践現場へ応用できるように学ぶ | | | | |
| ディプロマポリシー | 1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 | | | | ○ |
| | 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 | | | | ○ |
| | 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。 | | | | ○ |
| カリキュラムポリシー | 科目群Ⅰ 教養 | キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する | | | |
| | 科目群Ⅱ 原理 | 様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う | | | |
| | 科目群Ⅲ 知識・技能 | 子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける | | | ○ |
| | 科目群Ⅳ 実践 | 学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う | | | |
| 授業の概要 | 児童養護施設における児童指導員として勤務した経験から、施設等における保育士の具体的な業務や、それを遂行するために必要な知識・技術・倫理を演習・事例検討等を通して学ぶ。テーマに応じてグループワークやプレゼンテーション、ロールプレイ等を行う。 | | | | |
| 授業の到達目標 | 保育所保育士と施設保育士との共通点・相違点について比較検討することができる | | | | |
| | 施設や里親宅等で生活する子どもの権利を護るための対応方法について述べることができる | | | | |
| | 社会的養護に関わる専門職(保育士)として必要な取組みを述べるができる | | | | |
| テキスト | 「予習・復習にも役立つ 社会的養護Ⅱ」松本なるみ・中安恒太・尾崎眞三(編著) 創成社 | | | | |
| 参考書 | なし | | | | |
| ポートフォリオ | ICT(-googleクラスルーム含む)を活用した補足資料(レジュメ)・課題提示や回収等を実施する | | | | |
| 往還型授業 (双方向授業) | 授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする | | | | ○ |
| | リアクションペーパーを用いて、授業内での疑問等を対話形式にて対応す | | | | ○ |
| | リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める | | | | |
| | ICT(-googleクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する | | | | ○ |
| | その他: | | | | |
| 成績評価方法 | 区分 | 割合(%) | 内容 | | |
| | 定期試験 | 0 | 実施しない | | |
| | 授業内課題 参加度 出席態度等 | 100 | 確認テスト60%+提出課題(リアクションペーパー含む)20%、授業態度と意欲20%(授業態度と意欲にはディスカッションへの参加、発表内容も含む) | | |
| | その他 | 0 | なし | | |

授業概要と課題

| | | | |
|-----|-----------|--|-----|
| 第1回 | テーマ 内容 | オリエンテーション・「社会的養護の原理」の復習 | |
| | 授業外学習 | 「社会的養護の原理」で学んだ内容をまとめる | 55分 |
| 第2回 | テーマ 内容 | 子どもの権利と児童福祉施設【グループワーク】 社会的養護施策の展望 | |
| | 授業外学習 | 教科書 22ページ「問題①」「問題②」に取り組む | 55分 |
| 第3回 | テーマ 内容 | 社会的養護に関わる保育士の専門性①(コミュニケーション)【ロールプレイ・グループワーク】 | |
| | 授業外学習 | 演習を通しての気づきをまとめる | 55分 |
| 第4回 | テーマ 内容 | 家庭養護の特性と生活支援①(里親・ファミリーホーム)【グループワーク】 | |
| | 授業外学習 | 里親家庭において、委託児童と同居する里父・里母の実の子ども(実子)へ必要な配慮をまとめる | 55分 |
| 第5回 | テーマ 内容 | 家庭養護の特性と生活支援②(養子縁組)【グループワーク】 | |
| | 授業外学習 | 養子縁組と里親の共通点と違いについてまとめる | 55分 |
| 第6回 | テーマ 内容 | 施設養護の特性と生活支援①(入所施設の特徴・アドミッションケア)【グループワーク】 | |
| | 授業外学習 | 自分が考える施設のイメージとその理由についてまとめる | 55分 |
| 第7回 | テーマ 内容 | 施設養護の特性と生活支援②(生活場面でのケア(被虐待児の対応・高齢児童への対応等)【ロールプレイ・グループワーク】 | |
| | 授業外学習 | 演習を通しての気づきをまとめる | 55分 |
| 第8回 | テーマ 内容 | 社会的養護におけるリービングケアとアフターケア【グループワーク】 | |
| | 授業外学習 | 教科書 72ページ「問題①」に取り組む | 55分 |
| 第9回 | テーマ 内容 | 社会的養護に関わる保育士の専門性②(ソーシャルワークの視点)【グループワーク】 | |
| | 授業外学習 | 教科書 100ページから104ページを読み込むと同時に、ソーシャルワークについて「社会福祉」等の講義で学んだことを復習する。 | 55分 |

| | | | |
|------|-----------|--|-----|
| 第10回 | テーマ 内容 | 児童養護施設等で保育士資格働く方の話を聞き専門職理解を深める<ゲストスピーカー> | |
| | 授業外学習 | ゲストスピーカーの方への質問と講和後の学びをまとめる | 55分 |
| 第11回 | テーマ 内容 | 記録の書き方と自立支援計画書 | |
| | 授業外学習 | 興味のある社会的養護が必要な子どもが生活する施設・家庭養護についてまとめる | 55分 |
| 第12回 | テーマ 内容 | 社会的養護に関わる保育士の専門性③【プレゼンテーション】 | |
| | 授業外学習 | 教科書 73ページ「問題②」に取り組む | 55分 |
| 第13回 | テーマ 内容 | これまでのまとめ | |
| | 授業外学習 | これまでの学びをノートにまとめる | 55分 |

課題に対するフィードバックの方法

- ・授業内および授業外学習に関する質問等は、授業前後の時間及びオフィスアワー（別途掲示）に対応する。
- ・提出されたレポート等は、授業時及びグーグルクラスルームにてフィードバックを行う。

2023年度 和泉短期大学 シラバス

| 授業科目名 | 社会的養護の内容 | | 教員氏名 | 村岡 薫 | |
|------------------|--|--|-----------------------------|----------|-----|
| 科目ナンバー | Ⅲ-6-1-1 | | | | |
| 学年 | 1年 | | 開講学期 | 後期 | |
| 授業形態 | 演習 | | 単位数 | 1単位 | |
| 必修・選択 | 保育士必修 | | 実務経験 | 児童福祉施設職員 | 35年 |
| テーマ | 社会的養護の内容とその周辺領域の実際を知り、子ども(人)についての理解を深める | | | | |
| ディプロマポリシー | 1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 | | | | ○ |
| | 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 | | | | ○ |
| | 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。 | | | | ○ |
| カリキュラムポリシー | 科目群Ⅰ 教養 | キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する | | | |
| | 科目群Ⅱ 原理 | 様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う | | | |
| | 科目群Ⅲ 知識・技能 | 子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける | | | ○ |
| | 科目群Ⅳ 実践 | 学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う | | | |
| 授業の概要 | <p>児童養護施設及び児童心理治療施設での現場勤務と管理職の経験から、現在の子育て環境が直面する課題やそこに携わる養育者として大切にすべきことについて学ぶ。</p> <p>保育実習Ⅰ（児童福祉施設）に向かう準備として、児童養護施設を中心とした社会的養護の実際を、現場の取組みや当事者の声などの映像から学ぶとともに、課題を抱える子どもたちとの関わりにおいて留意することを学ぶ。</p> <p>「普通とは何か」「障がいとは何か」「じりつとは何か」、自分自身が持っている認識を問い直す。</p> <p>自分自身の特性や課題を考え、対人援助に携わっていくうえでの権利擁護について学ぶ。</p> | | | | |
| 授業の到達目標 | 1. 児童福祉施設の生活の実際と、施設入所となる背景について述べることができる。 | | | | |
| | 2. 子どもへの不適切な関わりがエスカレートして虐待に繋がることがあること、保育現場や施設内でも同様なことが起きる可能性があること、その予防として心がけることを述べることができる。 | | | | |
| | 3. 先入観が偏見に繋がりがやすいということ、血の繋がりを越えて家族になるということ、「じりつ」というのは人に上手に頼れるようになるということ、少数の立場の人たちのいろんな生き様があるということを述べることができる。 | | | | |
| テキスト | 当日のテーマ(主題)に関する講義抄録を配布する | | | | |
| 参考書 | 必要に応じて授業内で紹介する | | | | |
| ポートフォリオ | 授業外指示で記入したふりかえりシート(リアクションペーパー)と配布資料をまとめて一冊のファイルを作成する | | | | |
| 往還型授業 (双方向授業) | 授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする | | | | ○ |
| | リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する | | | | ○ |
| | リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める | | | | |
| | ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する | | | | ○ |
| | その他: | | | | |
| 成績評価方法 | 区分 | 割合(%) | 内容 | | |
| | 定期試験 | 0 | 実施しない | | |
| | 授業内課題参加度 出席態度等 | 100 | 授業内提出課題75% 授業への姿勢と他者への配慮25% | | |
| | その他 | | | | |

授業概要と課題

| | | | |
|-----|-----------|---|-----|
| 第1回 | テーマ 内容 | ・アイスブレイク 自己紹介 ・講義の進め方についてのオリエンテーション ・児童養護施設を知る ～イメージから実際へ～ 先入観を偏見に繋がない 多面的に捉える とり組みの実際を垣間見る | |
| | 授業外学習 | 前期の「社会的養護の原理」で学んだ内容に再度目を通しておくとともに、児童養護施設「一陽(福井)」、「鎌倉児童ホーム・心泉学園(神奈川)」の概要を調べておく | 55分 |
| 第2回 | テーマ 内容 | ・社会的養護のあゆみ ～戦後孤児院から、小規模グループケアの流れに至るまで～ ・乳児院の実際 ～働きの現状と今後の方向性～ | |
| | 授業外学習 | <予習> 児童養護施設「舞鶴学園」のHPから歴史や沿革を調べておく 神奈川県内の10カ所の乳児院から一つを調べておく <復習> 全国乳児福祉協議会HPの「乳児院のあゆみとこれから」を確認する | 55分 |
| 第3回 | テーマ 内容 | ・養育里親、専門里親の実際と現在の施策状況 里親制度が持つ可能性と課題、必要なサポートを考える | |
| | 授業外学習 | <予習> NPO法人キアセット等のHPから里親制度の概要を調べておく <復習> 家庭養護促進協会等のHPから特別養子縁組のあっせんについて調べる | 55分 |
| 第4回 | テーマ 内容 | ・特別養子縁組の実際 特別養子縁組制度の意味・意義を考える 「家族」とは何かを考える | |
| | 授業外学習 | <予習> NPO法人「環の会」について調べておく <復習> 厚生労働省のHPから「特別養子縁組制度」の成立要件を確認する | 55分 |
| 第5回 | テーマ 内容 | ・虐待① ドラマから考える 誰にでも起きうるということ、助け(おせっかい)が必要だということ | |
| | 授業外学習 | <予習復習> 11月の虐待防止月間を意識し、新聞、TV、ネットに目を向ける ハートネットTV・クローズアップ現代+・目撃』につぼんなどの番組にふれてみる | 55分 |
| 第6回 | テーマ 内容 | ・虐待② 当事者の声 心の傷 当事者が抱える葛藤、苦しみを知る 虐待がもたらす心の傷をを考える | |
| | 授業外学習 | <予習復習> 11月の虐待防止月間を意識し、新聞、TV、ネットに目を向ける ハートネットTV・クローズアップ現代+・目撃』につぼんなどの番組にふれてみる | 55分 |
| 第7回 | テーマ 内容 | ・虐待③ 治療的関わり 心の傷への治療的アプローチ 児童心理治療施設のとりの組みの実際 | |
| | 授業外学習 | <予習> 児童心理治療施設「大村椿の森学園(長崎)」について調べておく <復習> 全国児童心理治療施設協議会のHPから施設特性を再確認しておく | 55分 |
| 第8回 | テーマ 内容 | ・発達障がい(発達の特性)を考える ① 発達特性を持つことでの当人の生きづらさ、周りができる配慮を考える 特性のある子どもを育てる親御さんの苦労に気づく | |
| | 授業外学習 | <予習復習> ASD(自閉症スペクトラム)、AD/HD、LDについて、自分でも調べてみる | 55分 |
| 第9回 | テーマ 内容 | ・発達障がい(発達の特性)を考える ② 普通とは何か、では障がいとは？ 少数の立場が尊重される社会であるために 特性のある子どもに対したときに、どうしていけばいいのか | |
| | 授業外学習 | <予習復習> 本田秀夫医師について、ネットやYouTubeのなかで自分の理解しやすいもので調べ、自分なりに「普通とは？」「障がいとは？」と考えてみる | 55分 |

| | | | |
|------|-----------|---|-----|
| 第10回 | テーマ 内容 | ・権利擁護 施設内で起こる不適切な関わり 鎌倉保育園問題、障がい者施設での虐待問題等から、具体的な予防措置を学ぶ 個人が陥る不適切な関わりとその要因（支援者・養育者の葛藤）を学ぶ | |
| | 授業外学習 | <予習> 「養育ブック改定版」から個人として予防できそうなことを考えておく <復習> 自分の性格、長所短所、苛立ちポイントを意識化してみる | 55分 |
| 第11回 | テーマ 内容 | ・リービングケア ～高校卒業に向けての支援～ 進路選択で直面する問題の実際、施設職員に何ができるのか | |
| | 授業外学習 | <予習> 児童養護施設「光明童園」のHPを調べておく <復習> あすなるサポートステーションのFBから活動を調べる | 55分 |
| 第12回 | テーマ 内容 | ・アフターケア ～自立援助ホームの取り組み～ 社会的養護の自立援助とともに、自分自身の「自立」「自律」を考える | |
| | 授業外学習 | <予習> 全国自立援助ホーム協議会のHPから概要について調べておく <復習> フェアスタート、ブリッジフォースマイルのHPから退所者支援を調べる | 55分 |
| 第13回 | テーマ 内容 | ・まとめ …これまでの学習の総括 ・実習に向けての心構え | |
| | 授業外学習 | <予習> 事前配布のスライド資料を確認し、質問できる準備をしておく <復習> 返却する「ふりかえりシート」も含め、授業ファイルをまとめる | 55分 |

課題に対するフィードバックの方法

- ・提出されたふりかえりシートに必要な応じたコメントを記入し、授業内で都度返却する。
- ・質問は授業内で随時受け付ける。

2023年度 和泉短期大学 シラバス

| | | | | | |
|------------------|---|--|--|-----------|-----|
| 授業科目名 | 社会的養護の内容 | | 教員氏名 | 風間 俊秀 | |
| 科目ナンバー | Ⅲ-6-1-1 | | | | |
| 学年 | 1年 | | 開講学期 | 後期 | |
| 授業形態 | 演習 | | 単位数 | 1単位 | |
| 必修・選択 | 保育士必修 | | 実務経験 | 児童養護施設指導員 | 24年 |
| テーマ | 社会的養護の現状と保育士の役割を学ぶ | | | | |
| ディプロマポリシー | 1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 | | | | ○ |
| | 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 | | | | ○ |
| | 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。 | | | | ○ |
| カリキュラムポリシー | 科目群Ⅰ 教養 | キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する | | | |
| | 科目群Ⅱ 原理 | 様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う | | | |
| | 科目群Ⅲ 知識・技能 | 子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける | | | ○ |
| | 科目群Ⅳ 実践 | 学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う | | | |
| 授業の概要 | 児童養護施設で社会的養護を必要とする子ども達の養育に携わった実務経験をもとに社会的養護の現状と保育士の役割について授業を行います。 子どもとその家族の現状を踏まえ、児童福祉施設の具体的な役割の理解を深めながら、保育士としてどのように向き合い、支援することが求められるか実践的に学ぶ。事例等を用いた演習を通じて個別に取り組み、またグループワークを通じて多角的な視点に触れることで、自己理解を深めるとともに、保育士としての在り方を学びます。 | | | | |
| 授業の到達目標 | ①施設に入所している子どもやその家族への理解を深め、具体的な対応を説明できる。 | | | | |
| | ②施設職員として組織の中で自分の力を発揮するためのコミュニケーションを図れる。 | | | | |
| | ③保育士として社会的養護における役割を理解し実践できる。 | | | | |
| テキスト | 「子どもと社会の未来を拓く 社会的養護の内容」櫻井奈津子編著 青踏社 プリントを配布する | | | | |
| 参考書 | | | | | |
| ポートフォリオ | | | | | |
| 往還型授業 (双方向授業) | 授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする | | | | |
| | リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する | | | | ○ |
| | リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める | | | | |
| | ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する | | | | |
| その他: 0 | | | | | |
| 成績評価方法 | 区分 | 割合(%) | 内容 | | |
| | 定期試験 | | | | |
| | 授業内課題参加度出席態度等 | 100 | 授業内リアクションペーパー及び演習課題(70%)、最終授業の到達度チェック(30%)により総合的に評価する。 | | |
| | その他 | | | | |

授業概要と課題

| | | | |
|-----|-----------|---|-----|
| 第1回 | テーマ 内容 | 講義についてのオリエンテーション、講義の内容、進め方、評価の仕方について 社会的養護の施設種別と役割、特徴の理解 | |
| | 授業外学習 | 社会的養護の原理の講義を振り返る。 | 55分 |
| 第2回 | テーマ 内容 | 施設養護の流れ 施設入所から退所までのプロセスとポイントを学ぶ | |
| | 授業外学習 | 児童養護施設を1施設調べ、そこで生活することをイメージしてまとめる。 | 55分 |
| 第3回 | テーマ 内容 | インテーク(グループワーク) インテーク演習を通じて、子どものニーズへの対応を考える | |
| | 授業外学習 | グループワークを振り返り、自身の考え方の特徴をまとめる。 | 55分 |
| 第4回 | テーマ 内容 | 施設での暮らし 様々な施設形態とその特徴、制度の変化から施設での生活を学ぶ | |
| | 授業外学習 | 児童養護施設を施設形態ごとに調べ、特徴をまとめる。 | 55分 |
| 第5回 | テーマ 内容 | 日課と規則 施設の日課や規則にはどのような意図があるのか考える | |
| | 授業外学習 | 日課や規則の意味を子どもたちに伝える方法を考えてまとめる。 | 55分 |
| 第6回 | テーマ 内容 | 施設での仕事演習①(グループワーク) 演習を通じて新任職員の身に起こった事例への対応を考える | |
| | 授業外学習 | グループワークを振り返り、新任職員の仕事に対する姿勢について考える。 | 55分 |
| 第7回 | テーマ 内容 | 子ども虐待① 虐待の現状と分類、虐待が及ぼす子どもへの影響 | |
| | 授業外学習 | 虐待に関するニュースや記事を調べてまとめる。 | 55分 |
| 第8回 | テーマ 内容 | 子ども虐待② 虐待する親の心理と子どもへのケア | |
| | 授業外学習 | 虐待を受けた子ども、虐待してしまった親に対して、保育士としてできることを考えてまとめる。 | 55分 |
| 第9回 | テーマ 内容 | 家族や里親との関わり 里親委託の現状と取り組みを学ぶ | |
| | 授業外学習 | 各自治体の里親制度について調べてまとめる。 | 55分 |

| | | | |
|------|-----------|--|-----|
| 第10回 | テーマ 内容 | 施設での仕事演習(グループワーク) 演習を通じて施設で起こる様々なトラブルへの対応を考える | |
| | 授業外学習 | グループワークを振り返り、トラブルを未然に防ぐためにできることを考えて書き出す。 | 55分 |
| 第11回 | テーマ 内容 | 子どもの権利擁護 施設内虐待の歴史を学び、どのように子どもの権利を護り向き合うか考える | |
| | 授業外学習 | 不適切な関わりをしないように注意すべきポイントを考えてまとめる。 | 55分 |
| 第12回 | テーマ 内容 | 自立支援とアフターケア 子どもを社会へ送り出し、継続して支援する取り組みを学ぶ | |
| | 授業外学習 | 進学や自立を支援する社会資源を調べてまとめる。 | 55分 |
| 第13回 | テーマ 内容 | まとめ・到達度チェック 保育士として社会的養護と関わるポイントを振り返る | |
| | 授業外学習 | 講義の内容を振り返り、実習に向けて活かせるポイントを整理する。 | 55分 |

課題に対するフィードバックの方法

授業内で作成する個人のワークシート及びグループワークシートは返却の上、授業内でフィードバックします。